

# 「2009年3月期連結決算概要」

---

2009年4月24日

 日立キャピタル株式会社

# 通期損益概要(実績)

(百万円、%)

	08/3実績	09/3実績	
			前年比
営業収益	117,185	107,943	92
(うち、事業収益)	115,362	105,937	92
営業費用	94,699	90,362	95
(うち、販管費)	62,439	63,828	102
(うち、金融費用)	32,259	26,534	82
営業利益	22,486	17,580	78
営業外損益	113	▲35	—
経常利益	22,600	17,544	78
特別損益	▲2,095	4,267	—
税引前利益	20,504	21,812	106
当期純利益	10,722	12,122	113
取扱高	1,899,166	1,616,460	85
1株当たり純利益(円)	91.73	103.71	113
1株当たり配当金(円)	(*)40.00	36.00	-

(\*)08/3実績の1株当たりの配当金には、記念配当 4.00円が含まれています。

# 会計処理変更の影響

## ■営業収益・営業利益に対する影響額

(百万円)

	08/3実績	09/3実績 ①	影響額 ②	09/3影響額 考慮後実績 ①-②
営業収益	117,185	107,943	▲3,340	111,283
営業費用	94,699	90,362	▲4,587	94,949
営業利益	22,486	17,580	1,247	16,333

\*リース債権流動化の処理変更により、金融費用を原価に付替えしたため、営業費用が4,587百万円減少しています。

## ■営業収益に対する影響額内訳

(百万円)

	08/3実績	09/3実績 ①	影響額 ②	09/3影響額 考慮後実績 ①-②
リース	67,897	61,752	▲2,875	64,627
信用保証	9,846	7,868	▲908	8,776
割賦その他	39,441	38,322	443	37,879

# 特別損益の内訳

(百万円)

科目	金額
リース債権流動化処理変更	25,703
信用保証金融処理変更	▲7,348
割賦その他金融処理変更	895
事業構造改革損他	▲14,982
営業資産関係	▲11,599
一般資産関係	▲795
割増退職金	▲1,587
投資有価証券評価損	▲1,001
<b>特別損益合計</b>	<b>4,267</b>

# 事業収益内訳

(百万円、%)

		08/3実績	09/3実績	前年比
金融収益	事業収益	53,577	51,464	96
	取扱高	806,734	555,852	69
手数料収益	事業収益	14,719	13,846	94
	取扱高	669,387	655,515	98
仕入販売収益	事業収益	10,335	8,793	85
	取扱高	63,059	56,932	90
海外事業収益	事業収益	36,730	31,832	87
	取扱高	359,985	348,161	97
合計	事業収益	115,362	105,937	92
	取扱高	1,899,166	1,616,460	85

# 営業費用内訳

(百万円、%)

	08/3実績	09/3実績	
			前年比
営業費用	94,699	90,362	95
販管費	62,439	63,828	102
人件費	36,053	34,141	95
業務運営費など	21,870	20,470	94
貸倒引当金及びローン保証 引当金繰入差額	4,516	9,216	204
金融費用	32,259	26,534	82

\* リース債権流動化の処理変更により、金融費用を原価に付替えしたため、営業費用が4,587百万円減少しています。

# 比較貸借対照表

(億円)

	09/3末			09/3末	
		08/3末比較			08/3末比較
流動資産	13,680	6,360	流動負債	9,485	▲1,294
現金及び預金	248	▲14	支払手形・買掛金	2,138	▲1,116
関係会社預け金	2,270	1,529	借入金・CPなど (うち、CP)	4,371 (1,427)	1,093 (734)
受取手形・売掛金	5,271	▲819	一年以内長期流動化 支払債務	242	▲3,303
リース債権及び リース投資資産	5,639	5,639	ローン保証引当金	29	▲5
貸倒引当金	▲133	▲29	固定負債	6,005	▲5,301
固定資産(有形+無形)	2,633	▲13,693	社債・借入金	4,494	▲121
貸与資産	2,456	▲13,698	長期流動化支払債務	632	▲5,627
投資その他の資産	1,590	760	純資産合計	2,413	23
貸倒引当金	0	0	負債純資産合計	17,904	▲6,572
資産合計	17,904	▲6,572			

# 比較貸借対照表(会計処理の変更)

## ■ 資産合計▲6,572億円の減少(08/3末→09/3末)

### リース会計処理の変更及びリース債権流動化会計処理の変更による影響

- 固定資産の減少⇒流動資産の増加+投資その他の資産の増加
- 固定資産の減少⇒流動負債及び固定負債の減少

#### 1. 固定資産の減少

	09/3末	08/3末比較
貸与資産	2,456	▲13,698

単位:億円

#### 2. 流動資産の増加

	09/3末	08/3末比較
リース債権及び リース投資資産	5,639	+5,639

#### 3. 流動負債及び固定負債の減少

	09/3末	08/3末比較
長期流動化支払債務	874	▲8,930
流動負債計上分	242	▲3,303
固定負債計上分	632	▲5,627

+

#### 4. 投資その他の資産の増加

	09/3末	08/3末比較
リース債権流動化による 信託受益権	748	+748

# 取扱高実績

(百万円、%)

	08/3	09/3	
			前年比
農業・医療事業	140,369	124,679	89
法人事業	1,119,516	957,553	86
消費者事業	279,294	186,064	67
海外事業	359,985	348,161	97
合計	1,899,166	1,616,460	85

## 農業・医療事業(前年比89%)

- 医療事業(前年比92%)  
シェアアップ  
⇔リース事業協会(前年比90%)

## 消費者事業(前年比67%)

- 低採算商品の整理(▲832億円)
- ネット事業の伸長(前年比117%)
- 住宅ローン借り換えの伸長(前年比137%)

## 法人事業(前年比86%)

- 金融サービス附帯事業(前年比103%)
- 設備投資減退によるリース取扱高減少(前年78%)  
選別受注、与信管理強化

## 海外事業(前年比97%)

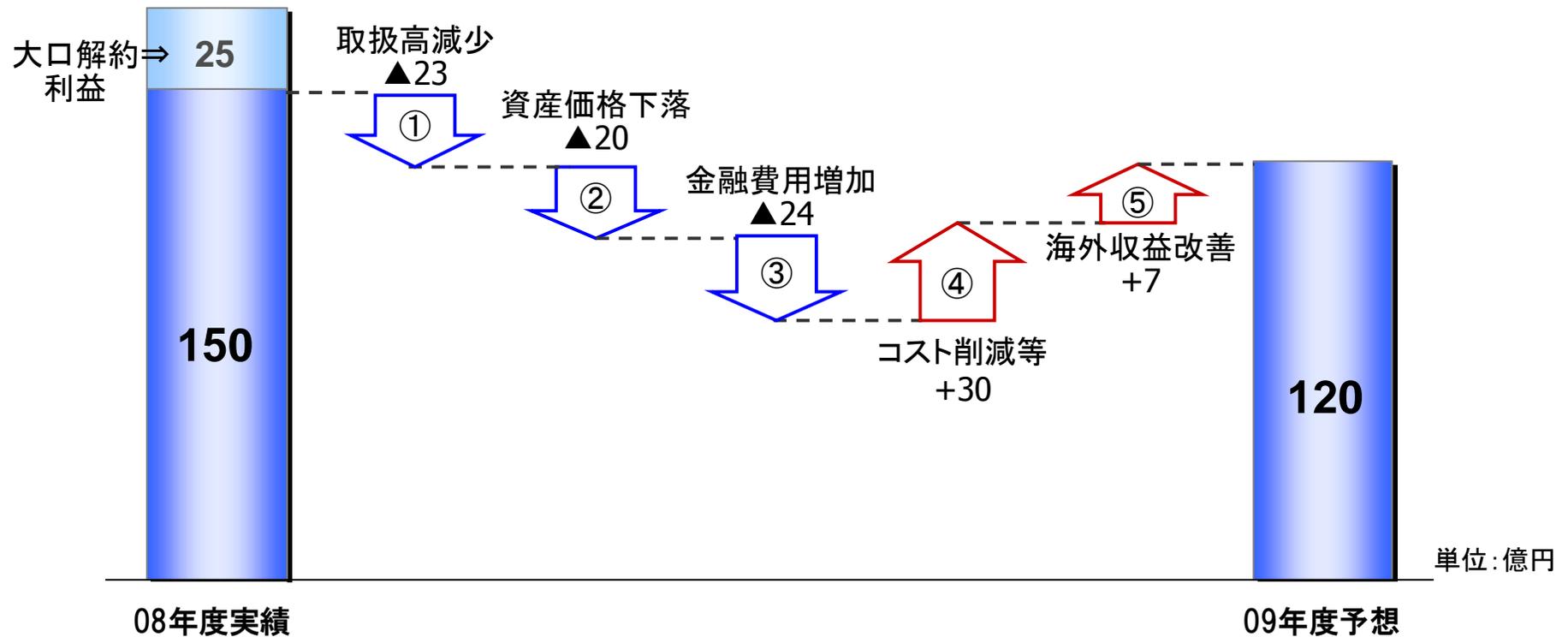
- 英国(前年比93%)
- 米国(前年比99%)
- 香港(前年比108%)

# 2009年度通期業績予想

(百万円、%)

	09/3実績	10/3予想	
			前年比
営業収益	107,943	96,800	90
(うち事業収益)	105,937	95,120	90
営業費用	90,362	84,800	94
(うち、販管費)	63,828	57,620	90
(うち、金融費用)	26,534	27,180	102
営業利益	17,580	12,000	68
営業外損益	▲35	0	—
経常利益	17,544	12,000	68
特別損益	4,267	▲3,000	—
税引前利益	21,812	9,000	41
当期純利益	12,122	5,150	42
取扱高	1,616,460	1,400,000	87

# 2009年度経常利益の増減要因



- ① 設備投資減退による取扱高の減少
- ② 世界的不況による資産売却価格の下落
- ③ 金融危機再発による信用リスクプレミアムの増加
- ④ 営業センター集約等による人件費及び物件費の削減(2008年度実施効果)
- ⑤ 欧米のリストラ効果による海外収益の改善(2008年度実施効果)

# 営業収益予想(事業別)

(百万円、%)

		09/3実績	10/3予想	前年比
金融収益	事業収益	51,464	45,850	89
	取扱高	555,852	468,300	84
手数料収益	事業収益	13,846	13,760	99
	取扱高	655,515	603,900	92
仕入販売収益	事業収益	8,793	9,590	109
	取扱高	56,932	57,300	101
海外事業	事業収益	31,832	25,920	81
	取扱高	348,161	270,500	78
合計	事業収益	105,937	95,120	90
	取扱高	1,616,460	1,400,000	87

# 取扱高予想

(百万円、%)

	09/3実績	10/3予想	
			前年比
農業・医療事業	124,679	130,300	105
法人事業	957,553	832,600	87
消費者事業	186,064	166,600	90
海外事業	348,161	270,500	78
合計	1,616,460	1,400,000	87



<http://www.hitachi-capital.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご認識いただき、資料をご活用ください。この影響を反映した業績予想につきましては、数値が確定次第公表します。